



とみざわ

学校だよりNo.7

平成 29 年 7 月 21 日 (金)

仙台市立富沢小学校

校長 佐藤 智則

太白区富沢字中河原 17-1

TEL 743-7303

命を大切に、いじめのない学校を！！

児童のみなさんは楽しい夏休みを過ごしていることと思います。保護者の皆様におかれましては、個別面談にお越しいただき、誠にありがとうございます。

7月20日(木)の朝に、夏休み前の朝集会では、本校校長から安心・安全で、様々なことに挑戦してみる夏休みにしてほしいということ、そして改めて、命を大切にすること、今後もいじめのない学校にしていく内容の講話が話されました。

今回の学校だよりでは、いじめ防止に向けて、本校で取り組んできたことを紹介します。



<道徳の授業での取組>



各学年、各学級において、夏休み前までに「生命尊重」や「友情・信頼」をねらいとした道徳の授業を必ず実施することとしました。道徳の授業を通して、命はこの世の中で一番大切なものであることや友達と仲良く、助け合う気持ちを子供たちと再確認することができました。今後も道徳の授業を通して、命の大切さや友達への思いやりの気持ちを子供たちとともに考えていきます。

<あいさつ運動>

委員会活動の中で、交流委員会では、毎月2日、12日、22日の朝に昇降口であいさつ運動を行っています。5・6年生が中心となり明るいあいさつを広めています。夏休み明けも元気で明るいあいさつが学校や地域に響き渡ってほしいと考えています。



<外国語活動の取組>



ふだんの外国語の授業に加えて、本校では毎週火曜日に5・6年生向けの高学年トミリッシュタイム、水曜日には1年生から6年生まで取り組む全校トミリッシュタイムを実施しています。外国語活動を通して、子供たち同士が、より楽しく、相手意識をもってコミュニケーションを深めることができるように働きかけています。

詳細は、本校のブログをご覧ください。

<児童会での取組>

代表委員会では、いじめをなくすためのスローガンを決めました。スローガンは、「いじめ0、笑顔あふれるみんなの輪」

です。このスローガンのもと、夏休み明けも、みんな笑顔でいじめのない富沢小学校を創っていきます。



学校評議委員会より

6月27日開催されました学校評議委員会の内容を保護者の皆様に報告します
平成29年度の学校の取り組みを評議員の皆様へ説明し、授業参観をしていただきました。

○学校からの今年度の取り組みの説明

【地域とのかかわりに支えられた富沢小学校】

学習サポート 見守り隊 放課後子ども教室 土曜図書開放など地域の皆様には大変お世話になっている。

【協働型学校評価について】

あいさつの奨励を昨年度に引き続き重点目標とした。併せて地域とのかかわりをより強くしていくことを重点目標の二つ目とした。児童のあいさつの項目では「よい」とする評価が8割を越えている。

【学校が取り組んでいる研究 外国語活動 について】

2年後の外国語活動教科化に向けて準備を開始している。自己肯定感を高めるためにも外国語活動は有効だ。つながりを大切にした授業づくり、そしてかかわりを大切にした授業づくりを柱として研究を進めている。授業での一人一人の取り組みをほめて認めて育てる。

【いじめ 不登校 体罰の根絶に向けた取り組みについて】

いじめは、どこにでもだれにでも起こりうる職員全員が認識し、全校体制で対応にあたる。いじめ問題は、早期発見・早期対応が重要。いじめ調査アンケートの回数を4回に増やす。児童としっかり向き合い把握した問題の経過観察と改善、丁寧な指導・そして保護者の皆様方への説明責任を果たす。

【学習状況等調査の結果について】

全ての学年と全ての教科で仙台市の平均を超えている。学力は良好だが自己肯定感の低さに課題が見られる。外国語活動等の授業を通して、ほめること認めることで自己肯定感を向上させていく。児童の持つそれぞれの良さを認め合う環境をつくる。

評議委員様からの感想やご意見

今回の評議委員会では、有用なご意見をたくさんいただきました。中でもいじめ問題について貴重なご意見をいただきましたので、いじめ対応について以下にまとめさせていただきます。

☆キーワードは「かかわり」

- ・「ほめて伸ばす」ことを基盤にしていることはとても大事なことである。
- ・かかわりをキーワードに教育活動全体が進められていると感じた。いじめ対応にしっかり向き合っている。

☆外国語活動教育を進める観点から

- ・外国語教育の全校あげでの取り組みはよい。1年生から6年生まで共通で外国語活動に取り組むことはたくさんの人とかかわり合う力を身につけることになる。あいさつ運動もこのかかわり合う力に直結している。協働型学校評価の目標としてもふさわしい。
- ・外国語活動の授業では、子供たちの耳がいいのが理由なのかすばらしい発音をしている。エミリー先生とのかかわりもすばらしい。授業では、互いの意見に耳を傾けるという良い習慣が身についている。

☆地域とのかかわり

- ・給食のおいしいことにあらためて感心した。給食を学校で作る。つくる人が分かる。食材の多くも富沢でとれる野菜。野菜を育てる人も分かる。人とかかわりを大切にする富沢小学校を町内会としても応援します。いじめについても手間のかかる調査を繰り返すそうだが、その手間が大切だと思います。
- ・悩んでいる子供もいろいろな場面のちょっとしたきっかけや助言で解決の糸口が見つかるかもしれません。先生方の細やかな指導に感謝します。「ほめること」「互いを認め合う」という指導の指針にPTAも協力します。
- ・あいさつもどんどん良くなっている。これからは、大人が積極的にあいさつする見本を見せていきたい。

いじめ実態調査（6月実施）

相談総数156

全体

116

38

■ 指導済み 事後観察中

□ 指導中 経過観察中

※ご不明な点や相談したいことがありましたら、すぐにご相談ください。 仙台市立富沢小学校 743-7343